

新しいライフスタイルの提

—あなたの愛猫が誰からも愛される“ねこ”であるために—

大阪市など人口密集地では“ねこは放して飼う”という発想は捨て、ある程度の制限もやむを得ないと思ってください。
そのほうがあなたも“ねこ”も幸福になれると思います。

放し飼いにしていると……

- ・交通事故にあう危険性やケガをする確率が高くなります。
- ・伝染性が強く致死率の高い病気をもらう危険性もあります。
- ・メスなら妊娠する可能性、オスなら妊娠させる可能性があります。

ねこに関する苦情も増えています！

内容として、発情期の鳴き声、フン・尿、無断侵入、捨てねこ等があります。

これら苦情にあなたの“ねこ”が関与しているかも知れません。

そこで、大阪市ではいろんな人達の意見を取り入れて右図のようなモデルハウスを造り、普及・啓発運動中です。

基本的考え

- ①一日のほとんどをケージ内で生活するため、運動不足にならないよう上下に十分なスペースを確保する。
- ②飼い主の十分な管理化ではケージから出すが、屋外へ出る時は引き紐(リード)をつけて散歩させる。
- ③ねこに不用なストレスを加えないために、適当な時期に避妊・去勢手術を行う。

ポイント

- ◎子ねこの時から慣らすのが理想ですが、ある程度の年齢からでも可能であると考えています。
- ◎発情時期になるとケージから出たがる、スプレーをする(オス)、鳴き声がうるさい(メス)等あるので、避妊・去勢手術は必ず行う。
- ◎上下運動が基本。運動不足は解消できる。
- ◎トイレは市販で便利なものがたくさんある。
- ◎ケージから出した時はできるかぎりのスキンシップを！
- ◎ケージの置場所

ねこは本来季節に応じて最適な居場所をさがしだす能力に優れている。
ケージの置場所もねこの身になって考えたい。